



なるほどなっとくニュース

なっとくくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum
地域の宝 学校の宝

いしん じょうねつ そと はぎはんしゃろ 維新の情熱を注いだ萩反射炉



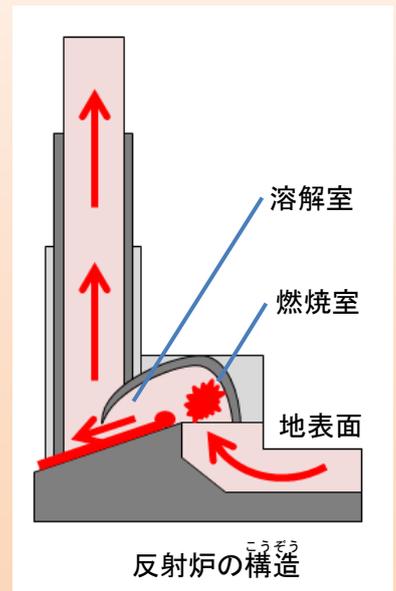
左の建物は何かわかりますか？ウサギの頭みたいな形ですが、なんと高さは10m以上もあります。

この建物は「萩反射炉」(萩市椿東)で、今から150年以上前の江戸時代の終わりごろに、大砲をつくる材料の鉄などを溶かすために建設されました。このころは、外国の進んだ軍勢力に何とか対抗しようという考えが幕府やいくつかの藩に広まっていた。その中で、佐賀や長州など西洋文明に注目した藩で反射炉の建設が試みられました。

萩反射炉は、長州(萩)藩からすでに建設に成功した佐賀藩の反射炉の見学に訪れ、そのときに描いた見取り図をもとに建設の準備にとりかかった記録が残っています。

当時は溶かした鉄から大砲のような大きなものをつくるのは大変難しく、残念ながら萩反射炉で実際に大砲が作られることはありませんでした。しかし日本の未来を信じて新しいことに積極的にチャレンジした心意気と技術は、後の日本の産業技術の発展に大きな影響を与えました。

萩反射炉は、平成27年に「明治日本の産業革命遺産」の一つ(構成資産)として、世界遺産に登録されました。萩市には、この他にも、【松下村塾】【萩城下町】【大板山たたら製鉄遺跡】【恵比寿ヶ鼻造船所跡】の5カ所が登録されています。萩市に行ったら、ぜひ訪ねてみてくださいね。



参考文献 萩博物館 『萩博物館調査研究報告 第7号』